

一四一四番

薦枕こもまくら 相まきし見もあひ あらばこそ 夜よのふくら
くも 我わが惜おしみせめ

一四一五番

玉梓たまづさの 妹いもは玉たまかも あしひきの 清きよき山やま辺へに
撒まけば散ちりぬる

一四一六番

玉梓たまづさの 妹いもは花はなかも あしひきの この山やま陰かげに
撒まけば失うせぬる

一四一七番

名な児ごの海うみを 朝あさ漕こぎ来くれば 海わた中なかに 鹿か子こそ鳴なく
なる あはれその鹿か子こ